

# 身長のステレオタイプは存在するか<sup>1)</sup>

## — 身長が対人印象に与える影響について —

筑波大学心理学系 山本真理子

Does a stereotype of height really exist?:  
The effect of height stereotype on impression formation

Mariko Yamamoto (*Institute of Psychology, University of Tsukuba, Tsukuba 305, Japan*)

The present study examined the effect of height on impression formation. Four people (two males and two females) were selected from among 17 people as stimulus persons. Height was controlled by changing the size of each photo of the stimulus person within three ranges (high / middle / low). 267 university students were randomly assigned as subjects into each of the experiment conditions (height (3) × stimulus person (2) × sex (2)) and asked to fill out questions about their impressions of the target person.

Results of analysis of variance showed significant effects of height in ten aspects of impression with the male stimulus person. The male stimulus person in the high range gave the impression of being more responsible, more considerate, more industrious, and more matured impressions than the male in the short range. The difference of height of the female, on the other hand, showed significant effect in only four aspects. Moreover, no consistent connections were found between height and the socially desirable impressions of the female stimulus person.

**Key words:** stereotype, effect of height, impression formation.

### 目 的

未知の他者にはじめて対面するとき、我々が抱くその人物の印象には外見の特徴が大きな影響を与えたと考えられている (Roberts & Herman, 1986)。我々はぱっと見ただけでその人物が何者であって、どのような性格であるかを瞬時に判断できてしまう (Schneider et al., 1979)。その時判断の手がかりとして我々が用いるのは、一目でわかりやすい顕現性の高い特徴である。例えば、人種や年齢がそのような手がかりとして用いられやすいこと (Brewer, 1988)、体型が一定の印象を与えること (沼上・斎藤,

1976, Dejong & Kleck, 1986)、容貌の特徴が一定の印象に結びつくこと (大橋ほか, 1974)、美しいだけで人柄がよいと判断されがちなこと (Dion et al., 1972他) などが多くの研究で報告されている。

このように一目見ただけで、本来外からはうかがい知れないような内面的な特徴まで推測され、特定の印象が形成されてしまうのは、われわれが持っている外見のステレオタイプのためであると説明されている (Stewart et al., 1979)。ステレオタイプとは、ある特定の人々に対してわれわれが共通に抱く先入観、共通のイメージのことをさし、多くの場合、単純化され、極端化されている。問題は、美しい人がいつもよい性格を持ち合わせているとは限らないなど、個々人がイメージされているその典型には必ずしも合致しているとはいえないにもかかわらず、我々が他者を判断するときにそのステレオタイプに

1) 本論文は、筑波大学人間学類の深江友紀子さんの平成4年度の卒業論文の実験資料に基づき、新たに分析、整理して作成した。

て、その特定の個人に対する認知が歪んでしまうことである。

例えば、Dion (1972)は、同じ悪いことをしても可愛くない子どもは可愛い子どもに比べて厳しい評価を受け、その行動をその子の性格に結びつけて判断されがちであることを示している。このような「美=良」のステレオタイプは、親、特に母親や教師が子どもの行動の原因を判断するときにも影響を与えている(Adam & Crane, 1980)。また、模擬裁判を大学生に行わせたところ、同じ犯罪を犯しても美しい人はそうでない人に比べて半分程度の刑期が相当であると判断された(Sigall & Ostrove, 1975)。これらはいずれも、我々が持っている「美しい人=良い人」の先入観が影響して、同じ悪いことをしても「魅力的な人は悪いことをするはずがない」という判断と結びついて、美しい人、可愛い子どもに許容的な判断をしがちであるという傾向を我々が持っていることを示している。

このようなステレオタイプが身長に関しても存在する可能性を、Roberts & Herman (1986)は指摘している。Robertsらは身長が対人認知や対人行動に与える影響に関するこれまでの研究を概観し、我々は身長の高い人に対して、指導力がある、信頼感がある、他者に対して支配力を持っている、社会的地位が高いなどのステレオタイプを持っていると述べている。また、Stabler et al. (1980)も、「背の高いことはポジティブな性格特性に結びつき、背が低いことはネガティブな性格特性に結びつくという社会的態度が広く存在する」としている。

さらに、身長が社会的影響を持つ証拠として、身長の高い人と低い人を比較すると、身長の高い人の初任給は低い人より有意に高いこと(The U.S. News and World Report, 1977, Keyes, 1980)、身長の高い候補者の方が高い職位を与えられやすいこと(Farb, 1978, Kurth, 1969)などが報告されている。そして、Gillis (1982)は、アメリカの大統領選挙ではほとんどの場合背の高い候補者の方が当選していることを報告している。

このような身長の影響はその人物の魅力度にも影響を与え、背の高い人は背の低い人より魅力的にみられること(Elman, 1977)、同じ人物でもインタビューする相手より背が高い時の方が低いときより良く評価されること(Roberts, 1977)が示された。

このような結果は、我々の間に「背の高い人は指導性や信頼感が高い」というステレオタイプが存在していることをうかがわせるものである。

しかし、これらの結果はもう少し注意深く検討する必要がある。と言うのも、Fisher (1964)が示した

ように、達成動機、優越感、男性中心的態度の強い男性は自分の身長を高めに行く傾向があるようで、例えば、身長と初任給の高さの関係も、初任給の高い人たちがそうでない人より自分の身長を高めに表示したことが影響しているからかも知れないのである。また、有権者は自分が支持する候補者の身長を実際より高めに見積る傾向があること(Berkowitz, 1969)、同一人物でも社会的地位が高いと述べられ、そうでないときより身長が高く見積られやすいこと(Wilson, 1968, Rump & Delin, 1973)なども示されており、身長と社会的地位の関係もどちらがどの様に影響を与えているか、その方向性は決めがたいからである。

このように身長に関するステレオタイプが実際に存在するのか、存在するとするとどの様な影響を与えているのかについては、それを支持する研究とそうでない研究結果とが混在しており、現状では一概には決めかねる。

このようなことになっている原因の一つは、身長の影響を検討するとき個人々の持つ身長以外の要因の影響を除外していないことである。身長の違いを問題にしている多くの研究では、対象者や刺激人物を背の高い人/低い人に二分してその差異を問題にしている。少ない例(Wilson, 1968など)を除くと、当該人物の他の要因を固定して身長の影響を検討したものがこれまでほとんど見られなかった。これは実際に、同一人物の身長を変化させるのが操作的に難しいということが関係しているためであろう。本研究では、同一人物の写真を拡大縮小するという方法を用いて、この点を解消しようとした。

さて、身長が対人印象に影響を与えることを考えるとき、もう少し考えておかなければならないことがある。我々が背の高い人、低い人に会ったときいまだくその人物への印象の差異には、いくつかの複合的な要素が含まれていると考えられるからである。

それらは、体の大きさ、プロポーションの違い、他者の身長との相対的差異、自分と向き合ったときの視線の角度の差異である。

背の高い人は人より体が大きい場合が多い。我々が、身長の影響だとしているものの中に、体の大きさの要素の影響が入り込んでいる可能性がある。群居性の動物の雄では、体の大きさが社会的地位を決定する大きな要素であるとされている(Lorenz, 1952)。そのようなことと共通の傾向が体の大きな男性についての判断に見られるのかも知れない。また、身長の高い人は全体の身長に対する頭の大きさや足の長さが低い人のそれとはかなり異なる。また、

身長に対する体の幅の比率が低い人より小さくなる傾向があるであろう。このようなプロポーションの違いが対人印象に影響を与えている可能性もある。さらに、身長の影響は、単独でその人物が存在するときだけではなく、他者との比較によって起きるであろう。背の高い人物でも、例えばバスケットボールの選手達のようなきわだってさらに高い人物の間にいるときは、その印象がかなり異なってしまうように、周囲にいる人々の身長との比較でその人の印象が影響を受けることもあるであろう。

そして、特に対面場面で生じる身長の影響の中には、視線の角度の要素が大きくなってくると考えられる。二人の人物が対面したとき、背の高い人物は低い人を上から見おろし、低い人は下から見上げるような関係に位置することになる。このような場合、上から見おろす視線が支配性の印象などに関与する可能性が考えられる。身長と性格特性の間接的な関係をみると、身長と優越感の間に有意な相関が見られることが報告されているが(Eisenberg, 1957, Ackerman & Herman, 1979), このような結果は、他者を見おろす日頃の経験の積み重ねを反映している可能性も否めない。

このように、身長の影響の中にはさまざまな要素が含まれていると考えられるが、これまでの研究では、このような要素の違いを問題にして、身長の影響を検討していない。

本研究では、体の大きさの他者との相対的な比較を中心として、身長が対人印象に与える影響を取り上げたいと考えている。プロポーションの要素を固定するために、同一刺激人物の写真を操作して体の大きさを変化させるという方法を用いた。

## 方法

### 1. 実験刺激

男女2人ずつの刺激人物を用意し、刺激人物の写真を拡大、縮小して身長を高・中・低の3種類に変化させた。刺激人物は二人の同性の比較人物とともに本人が中央にいる形で写真で被験者に呈示された。刺激人物の両わきにいる二人の比較人物の身長を男性は170cm、女性は160cmに見えるように調整した。そして、刺激人物の身長を比較人物とほぼ同一になるように写真の大きさを調整し、刺激人物が比較人物と同一の身長の時を身長の間接条件とした。さらに、刺激人物の大きさを比較人物に比べて想定で10cm低くなるように写真を縮小したものを低条件、想定で10cmづつ高くなるように拡大した時を高条件とした。なお、刺激人物、比較人物の実

Table 1 刺激人物及び比較人物の実際の身長

|          | 男性    | 女性    |
|----------|-------|-------|
| 刺激人物 1   | 179cm | 158cm |
| 2        | 168   | 150   |
| 比較人物 1   | 170   | 168   |
| 2        | 169   | 154   |
| 被験者の平均身長 | 170.7 | 158.6 |

際の身長は Table 1 に示すとおりであった。

刺激人物と比較人物の選定にあたっては、以下の手順を踏んだ。男性15名、女性12名の候補者の中から与える印象の差異などを基準として、まず男性7名、女性5名を選んだ。さらに、これらの刺激人物について井上・小林(1985)の対人認知に関する18項目を用いて、19名の男女被験者に5段階で印象評定をさせた。各項目毎に平均値を求め、最も印象の異なると考えられる男女2名ずつを刺激人物として選定した。さらに、比較人物として印象が中立的と考えられる男女2名ずつを選んだ。2人の比較人物は、同性の刺激人物それぞれに共通して用いられた。刺激人物及び比較人物の印象評定の結果を Fig. 1, 2 に示す。また、男性刺激人物の一人を刺激の例として Fig. 3 に示した。

### 2. 測定尺度

刺激人物に関する印象と好意度を測定し、合わせて、身長操作の妥当性を検討するために刺激人物の身長と体重を推定させた。また、身長の高いこと、低いことに関する被験者自身の態度を測定した。

#### ①印象評定項目

刺激人物の身長の差異がその人物の印象に与える影響を検討をするために、Table 3, 4 に示す42項目の印象評定項目について5段階評定を求めた。

印象評定項目の選定にあたっては、林(1983)、井上・小林(1985)、山本(1992)の印象評定項目を参考にした。また、a. 背の高い男女、背の低い男女のイメージ、b. 社会的地位の高い人のイメージについて予備調査を行い(被験者は身長イメージ14名、高地位者イメージ19名)、それぞれ該当する人のイメージについて自由記述を求め、身長イメージについては回答頻度2以上の項目、高地位者イメージについては回答頻度3以上の項目を、さらに印象評定項目に加えた。

#### ②好意度

刺激人物の身長の差異が、その人物に対する好意

- 刺激人物 男性1 ○—○
- 男性2 ●- - -●
- 男性比較人物1 △—△
- 男性比較人物2 ▲- - -▲

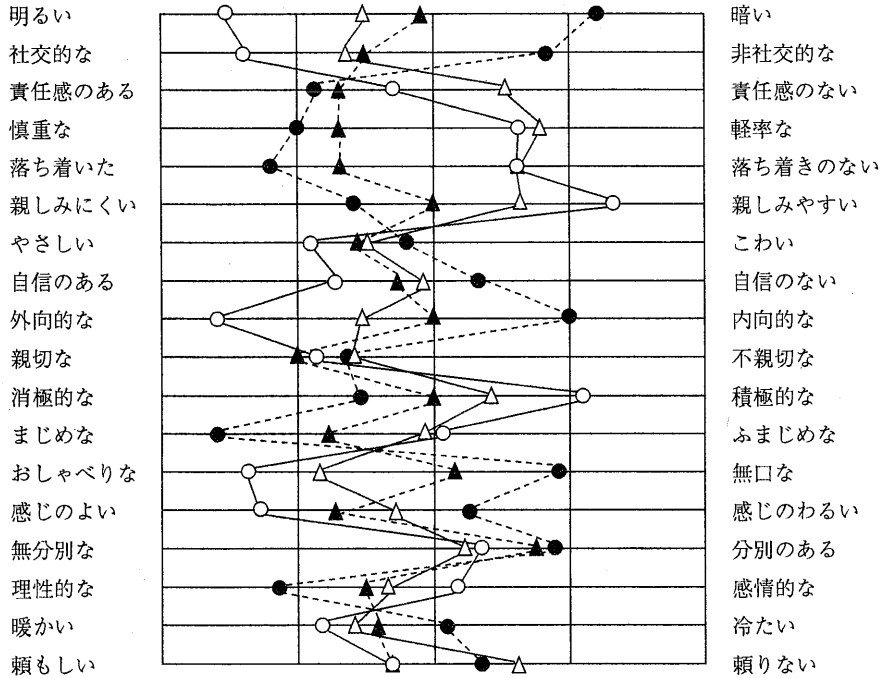


Fig. 1 男性刺激人物の身長操作前の印象

度に与える影響を検討するために、以下に示す項目について5段階評定で回答を求めた。

- a. 好意度(「この人をどのくらい好ましいと思いましたが」)
- b. 友人としての好ましさ(「この人とどのくらい友達になりたいと思いますか」)
- c. 恋人としての好ましさ(「この人と恋人としてつき合ってみたくどのくらい思いますか」)

③身長に対する一般の態度

身長のスtereotypeの影響を補足的に検討するために、身長の高いこと、低いことをに關する態度を、Fig. 4に示す15項目について5段階評定で回答させた。なお項目は、

- a. 男性/女性が背が高いこと/低いことの望ましさ
- b. 男女のペアでは男性が女性より背が高いこ

とが良いとする考え

- c. 現在の自分の身長への不満度
  - d. 自分の身長との比較で、恋人の望ましい身長
  - e. 身長の高い人/低い人のイメージ(優越感・劣等感)
  - f. 身長の高い人の望ましさ
- の6つの側面から構成されている。

また、上記の測定尺度の他に、被験者自身の基本的属性(性別、学年、専攻)と身長、体格をたずねた。さらに、刺激人物と接触経験のある者を被験者から除外するために、写真の人物との接触経験をたずねた。

3. 実験条件と被験者

実験は刺激人物の身長(高/中/低)×刺激人物の種類(男性刺激人物1・2/女性刺激人物1・2)×

刺激人物 女性1 ○—○  
 女性2 ●- - -●  
 女性比較人物1 △—△  
 女性比較人物2 ▲- - -▲

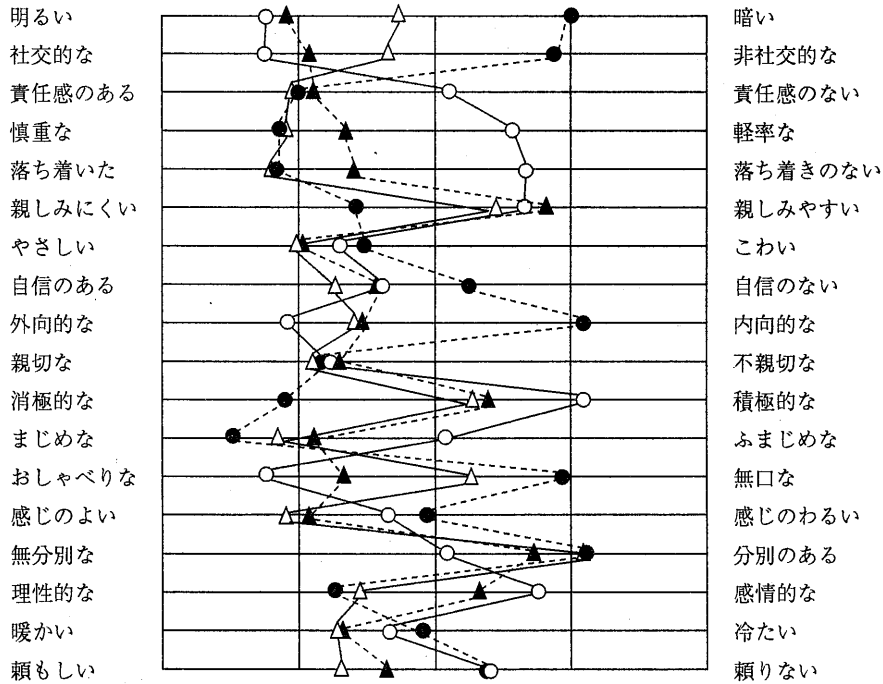


Fig. 2 女性刺激人物の身長操作前の印象

被験者の性(2)の3要因の要因配置として行われた。なお刺激人物の身長と被験者の性は被験者間要因配置であるが、刺激人物の要因は男性及び女性刺激人物が一人ずつ各被験者に割り当てられ、変則的な被験者内実験計画となっている。

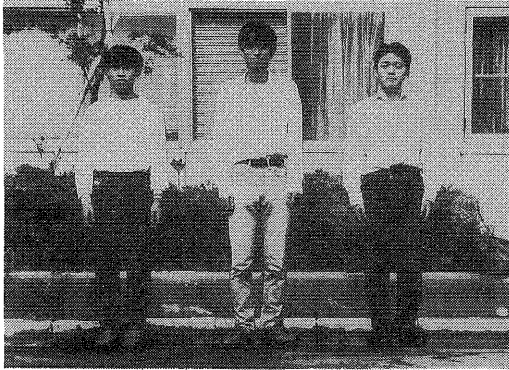
被験者は筑波大学の学生で、写真が合成されていることに気がついた者及び写真の人物を知っていると答えた者を除いた、男子124名、女子135名であった。

#### 4. 実験の手続き

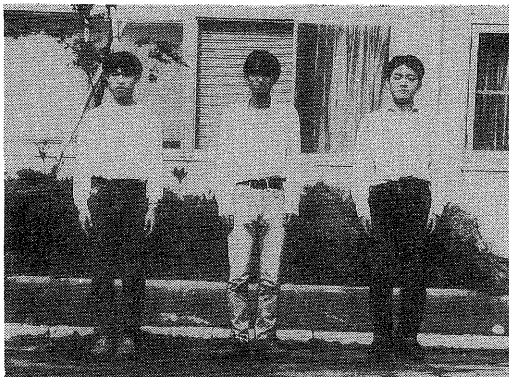
被験者1人につき、男性刺激人物と女性刺激人物1人ずつを評定させた。男性/女性刺激人物の種類や身長の要因はランダムに割り当てた。また、男性と女性の刺激人物の呈示順序もランダムになるように呈示した。

実験は第一印象の形成に関する研究であると被験者に教示し、心理学の授業時に実施された。被験者には刺激人物の写真の入った封筒が渡され、まず第1の刺激人物の写真を見せ、その人物の印象等を評定させた。第1の刺激人物について回答が終了した後、第2の刺激人物についても同様に印象評定等を行った。さらに被験者自身に関する質問や身長に対する態度などに関する質問にも回答させた。

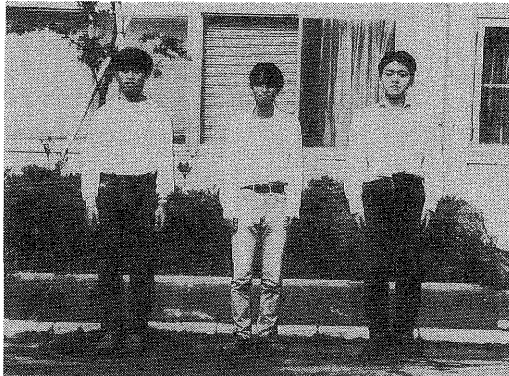
なお、被験者に刺激人物の写真を配布する際、「写真にはそれぞれ男性3人、女性3人が写っていますが、3人のうちのどの人物について答えていただくかは人によって異なります」と教示したが、実際には、被験者の全ては中央にいる刺激人物についての評定を求められ、両わきにいる2人の人物は刺激人物の身長の操作のために、身長判断の比較の基準として用いられた。



身長・高条件



身長・中条件



身長・低条件

Fig. 3 身長の操作をおこなった刺激人物の例—男性刺激人物1

実験は平成4年10月に行われた。実験の実施にはおよそ20分ほどかかった。

## 結果

### 1. 実験操作の妥当性

刺激人物の身長が妥当であったかどうかをチェックするために、刺激人物の各身長条件別に推定された身長を検討した。Table 2に、各身長条件での推定身長の平均値を男女別に示した。

Table 2 身長条件別にみた刺激人物の身長の推定値

|     |   | 被験者全体<br>(n=259) |      | 男性被験者<br>(n=124) |      | 女性被験者<br>(n=135) |      |
|-----|---|------------------|------|------------------|------|------------------|------|
|     |   | 平均               | SD   | 平均               | SD   | 平均               | SD   |
| 男性1 | 高 | 175.24           | 3.91 | 176.19           | 3.98 | 174.44           | 3.73 |
|     | 中 | 171.43           | 3.06 | 171.62           | 3.57 | 171.26           | 2.58 |
|     | 低 | 167.34           | 2.98 | 167.20           | 2.51 | 167.42           | 3.35 |
| 男性2 | 高 | 172.64           | 4.10 | 172.95           | 3.97 | 172.38           | 4.27 |
|     | 中 | 170.52           | 3.34 | 170.29           | 3.61 | 170.80           | 3.07 |
|     | 低 | 165.20           | 3.29 | 164.60           | 3.50 | 165.76           | 3.05 |
| 女性1 | 高 | 164.26           | 4.57 | 166.19           | 5.57 | 163.14           | 3.48 |
|     | 中 | 158.42           | 3.11 | 158.83           | 3.65 | 157.95           | 2.35 |
|     | 低 | 153.63           | 3.41 | 153.48           | 3.68 | 153.80           | 3.16 |
| 女性2 | 高 | 163.03           | 3.03 | 164.00           | 3.07 | 162.14           | 2.78 |
|     | 中 | 156.46           | 2.47 | 156.67           | 1.88 | 156.25           | 3.01 |
|     | 低 | 153.74           | 3.76 | 153.75           | 4.68 | 153.73           | 2.78 |

身長の推定値について、各刺激人物毎に身長(3)×被験者の性(2)の2要因の分散分析を行ったところ、いずれの刺激人物についても身長の要因で有意な主効果( $F=48.06-95.76$ , いずれも  $p<.001$ )が見られた。被験者の性別の主効果はいずれの場合も有意ではなかったが、男性刺激人物2については身長×性の交互作用に有意な効果が認められた。刺激人物毎に、身長の各条件間の推定値について男女被験者別に多重比較(LSD法)を行ったところ、女性被験者で男性刺激人物2の高条件と中間条件の間で有意差が認められなかったことを除くと、いずれの刺激人物についても高/中/低条件間で有意な差( $p<.05$ )が認められ、身長の操作はおおむね妥当であったと言える。

## 2. 身長が対人印象に与える影響

刺激人物の身長が対人印象に与えた影響を検討するために、男性/女性刺激人物別に、身長×刺激人物の種類×被験者の性の3要因の分散分析を行った。同一の被験者に男性刺激人物1, 2のいずれか、および、女性刺激人物1, 2のいずれかの2人を呈示するという形式を取ったので要因配置は変則的であるが、ここではいずれの要因も被験者間の要因配置になる。

分散分析の結果をTable 3, 4に示した。極端に印象の異なる刺激人物を選定したので、刺激人物の種類について多くの項目で有意な主効果が認められた(男性=29/42項目, 女性=26/42項目)のは当然であるが、身長の主効果が認められたのは、Table 3, 4に示すとおり、男性刺激人物では10項目、女性刺

激人物では4項目であった。2次の有意な交互作用が認められたものは、身長×刺激人物の種類では男性は「感情的」( $p \leq .05$ )の1項目、女性は「世渡りがうまい」( $p \leq .05$ )「積極的」( $p \leq .05$ )「行動力がある」( $p \leq .05$ )の3項目であった。また、身長×被験者の性では、男性の「おしゃべり」( $p \leq .05$ )のみであった。刺激人物の種類×被験者の性別では男性で2項目、女性で3項目の有意な交互作用が見られた。また、3次の交互作用については、男性では「真面目」「語学力がある」の2項目で有意な効果(いずれも $p \leq .01$ )女性では「スポーツが得意」( $p \leq .05$ )「公正である」( $p \leq .01$ )「世渡りがうまい」( $p \leq .05$ )「人より秀でたものがある」「まじめである」「おとなしい」「傲慢」「経済的に豊かである」( $p \leq .001$ )の8項目で有意な効果が見られた。

Table 3 身長が対人印象に与える効果—分散分析の結果

|                  | 男 性        |               |                 |      | 女 性        |               |                 |                    |
|------------------|------------|---------------|-----------------|------|------------|---------------|-----------------|--------------------|
|                  | 高さの主効果 (H) | 刺激の種類的主効果 (S) | 被験者の性別主効果 (SEX) | 交互作用 | 高さの主効果 (H) | 刺激の種類的主効果 (S) | 被験者の性別主効果 (SEX) | 交互作用               |
| スポーツが得意である       | 1.620      | 48.123***     | .150            |      | 1.717      | .057          | 2.557           | H×S×SEX*           |
| 努力家である           | 4.153*     | 76.277***     | .070            |      | 2.306      | 57.232***     | 7.097**         |                    |
| グループのリーダー的存在である  | .933       | 2.496         | .060            |      | .876       | 1.056         | 3.941*          |                    |
| ユーモアがある          | .072       | 24.355***     | .061            |      | .002       | .103          | .981            |                    |
| 劣等感をもっている        | .706       | 2.133         | 1.679           |      | 1.990      | 1.981         | .814            |                    |
| 人に甘えるのが上手である     | .510       | 46.401***     | 1.117           |      | 1.233      | 12.832***     | 9.739***        |                    |
| 元気がいい            | .194       | 21.852***     | 2.750+          |      | .054       | .957          | 8.374**         |                    |
| 落ち着いている          | 10.272***  | 83.668***     | 10.074**        |      | .276       | 3.748+        | 3.609+          |                    |
| 公正である            | 1.360      | 27.482***     | 5.438*          |      | .722       | 46.488***     | .210            |                    |
| 頭がいい             | .744       | 56.060***     | 1.920           |      | .744       | 3.303+        | 1.169           | H×S×SEX*           |
| 決断力がある           | .274       | 2.389         | 3.699+          |      | 2.227      | .188          | 3.121+          |                    |
| 信頼できる            | .717       | 18.275***     | .430            |      | 1.921      | 55.869***     | 6.767**         |                    |
| 自分の意見をはっきり言う     | .486       | .070          | 3.092+          |      | 1.576      | 14.265***     | 4.905*          |                    |
| 話題が豊富である         | .601       | 11.315***     | .949            |      | .611       | 12.645***     | 1.494           |                    |
| 世渡りが上手い          | 2.179      | 21.474***     | 1.389           |      | .710       | 39.876***     | 6.381*          | H×S*<br>H×S×SEX*   |
| 視野が広い            | .893       | 2.850*        | 1.082           |      | .278       | .704          | .817            |                    |
| 人に与える影響力が強い      | .381       | 1.117         | .548            |      | .272       | 6.863**       | 3.150+          |                    |
| 社交的である           | .413       | 28.651***     | 2.875+          |      | .850       | 13.651***     | 3.656+          |                    |
| 責任感がある           | 3.051*     | 40.978***     | 1.351           |      | .358       | 38.013***     | 4.361*          |                    |
| 慎重である            | 3.211*     | 60.405***     | 3.086+          |      | .920       | 29.470***     | 1.245           |                    |
| 周りの人のことを考えて行動できる | 1.664      | 20.227***     | 2.281           |      | .683       | 53.383***     | .951            |                    |
| 親しみやすい           | .499       | 1.650         | .625            |      | .009       | 48.946***     | 4.699*          |                    |
| 感情的である           | 3.476*     | 32.911***     | .241            | H×S* | 2.639+     | 22.667***     | .016            |                    |
| 自信がある            | .532       | .925          | .551            |      | 2.067      | 13.544***     | 3.376+          |                    |
| 何人かより秀でたものがある    | .164       | 2.150         | 1.389           |      | 1.339      | .054          | .152            | S×SEX*<br>H×S×SEX* |

数値はF値。なお、F値は要因の主効果についてだけ示した。

交互作用については、有意な効果が認められたものについてのみその内容と有意水準を\*で示した。

+ $p < .10$  / \* $p < .05$  / \*\* $p < .01$  / \*\*\* $p < .001$

Table 4 身長が対人印象に与える効果(続き)―分散分析の結果

|                     | 男 性        |                    |                    |           | 女 性                |               |                    |            |
|---------------------|------------|--------------------|--------------------|-----------|--------------------|---------------|--------------------|------------|
|                     | 高さの主効果 (H) | 刺激の種類の主効果 (S)      | 被験者の性別の主効果 (SEX)   | 交互作用      | 高さの主効果 (H)         | 刺激の種類の主効果 (S) | 被験者の性別の主効果 (SEX)   | 交互作用       |
| 積極的である              | .870       | 9.175**            | 5.044*             |           | 4.123*             | 6.953         | 6.710**            | H×S*       |
| 優越感をもっている           | .150       | 1.532              | 1.079              |           | 3.572*             | 28.771        | 1.913              |            |
| 行動力がある              | .087       | 3.987*             | 4.820*             |           | 2.864 <sup>+</sup> | 2.423         | 1.822              | H×S*       |
| やさしい                | 1.843      | .090               | 2.824 <sup>+</sup> |           | 3.335*             | 76.094***     | 3.707 <sup>+</sup> |            |
| 明るい                 | 1.804      | 22.312***          | 1.614              |           | 1.605              | 1.261         | 9.715**            |            |
| おこりっぽい              | 4.175*     | 11.118***          | .164               |           | 1.585              | 34.273***     | .408               |            |
| 女性的である              | .723       | .308               | 1.458              |           | 1.254              | .717          | 2.975 <sup>+</sup> | S×SEX*     |
| まじめである              | 3.474*     | 11.485***          | 3.691 <sup>+</sup> | H×S×SEX** | .477               | 64.089***     | .238               | H×S×SEX*   |
| おとなしい               | 1.449      | 31.639***          | .457               |           | .825               | 30.496***     | 4.669*             | H×S×SEX*   |
| 傲慢                  | 3.642*     | 4.257*             | .256               |           | .522               | 43.665***     | .037               | H×S×SEX*   |
| 大人っぽい               | 3.649*     | 19.760***          | 1.394              |           | 2.711 <sup>+</sup> | 33.055***     | .437               |            |
| おしゃべり               | 4.593*     | 18.123***          | 1.387              | H×SEX*    | .458               | 28.956***     | 4.618*             |            |
| 男性的である              | .828       | 1.691              | .952               |           | .383               | .006          | .231               | H×S×SEX*** |
| 経済的に豊かである           | .887       | 2.568              | .188               |           | .094               | 9.736**       | .003               |            |
| 勇敢である               | .259       | 3.646 <sup>+</sup> | .136               |           | .106               | 1.978         | .726               |            |
| 外向的である              | 1.382      | 13.002***          | 3.685              |           | 3.385*             | 9.031**       | 5.322*             |            |
| 語学力がありそう            | 1.117      | 33.915***          | .470               | H×S×SEX** | 1.547              | 2.090         | 1.109              |            |
| この人物を好ましいと思うか       | .872       | 1.365              | 2.490              | H×S×SEX*  | .333               | 35.646***     | 7.762**            | H×S×SEX*   |
| この人物と友達になりたいと思うか    | .392       | .039               | .114               | H×S*      | .229               | 24.275***     | 3.434 <sup>+</sup> |            |
| この人物が社会的に高い地位につく可能性 | .655       | 18.880***          | .059               |           | .030               | .502          | .864               |            |

数値はF値。なお、F値は要因の主効果についてだけ示した。

交互作用については、有意な効果が認められたものについてのみその内容と有意水準を\*で示した。

<sup>+</sup>p<.10 / \*p<.05 / \*\*p<.01 / \*\*\*p<.001

そこで、まず、有意な交互作用の認められた項目を除いて身長について有意な主効果が見られた項目について、身長の高/中間/低の3条件間の差について多重比較(LSD法)を行った。また、有意な交互作用の見られた項目については、それぞれについて単純主効果の検定を行い、その条件間の差について検討した。その結果をまとめて、Table 5, 6に示した。

### 3. 身長が刺激人物への好意度に及ぼす影響

刺激人物への好意度は女性刺激人物の場合に刺激の種類の主効果、被験者の性別の主効果が認められ、男女刺激人物の3次の交互作用に有意な効果が認められた(Table 4)。身長の要因が関係したものは、この3次の交互作用のみが有意であったので、その結果を各条件別に細かくみると、男性刺激人物2について女性被験者の間で身長の条件間で差がみられた。この時男性刺激人物の身長の低条件の方が、高条件、中間条件に比べて刺激人物への好意度が高

かった。それ以外については、有意な効果はいずれの場合にも認められなかった。

また、友達としての好ましさの点については、男性刺激人物では、身長と刺激人物についての交互作用が認められ、女性刺激人物については刺激の種類的主効果が認められた。さらに、男女被験者別に刺激人物の恋人としての好ましさについて見てみたが、有意な効果は認められなかった。

### 4. 身長に対する一般的態度

身長が高いこと/低いことに関する被験者自身のさまざまな態度を5段階評定で回答させた。「よくあてはまる」と「まああてはまる」を合わせて「当てはまる」の回答とし、「あまりあてはまらない」と「ほとんどあてはまらない」を合わせて「当てはまらない」としてまとめて、その該当者率を求めてみた(Fig. 4)。

その結果、男女ともに「もっと背が高くなりたい」と考えるものが70%前後と共通して高い。また、「男



Table 5 男性刺激人物について身長の効果の認められたもの

|          | 主効果   | 身長×刺激人物        | 身長×性別         | 身長×刺激×性               |
|----------|-------|----------------|---------------|-----------------------|
| 落ち着いている  | 高>中・低 |                |               |                       |
| 努力家である   | 高>低   |                |               |                       |
| 責任感がある   | 高>中・低 |                |               |                       |
| 慎重である    | 高>低   |                |               |                       |
| 感情的である   | 高<低   |                |               |                       |
| おこりっぽい   | 高・中<低 |                |               |                       |
| まじめである   | *     |                |               | 刺激人物1のみ<br>高>中・低      |
| 傲慢       | 高<低   |                |               |                       |
| 大人っぽい    | 高>中・低 |                |               |                       |
| おしゃべり    | *     |                | 女性のみ<br>高・中<低 | 刺激人物1について<br>女性が高>中・低 |
| 語学力がありそう |       |                |               |                       |
| この人物好ましい |       |                |               | 刺激人物1について<br>女性が高>中・低 |
| 友達になりたい  |       | 刺激人物1のみ<br>高>低 |               |                       |

下位検定の結果、身長条件間に差の認められたものを示した。

身長の主効果が認められ、有意な交互作用が認められなかったものについては、LSD法による下位検定を行った。また、有意な交互作用の認められたものについては、要因の主効果も認められた時はその箇所を\*で示し、当該の交互作用の項に単純主効果の検定を行った結果を示した。

性は背が高い方が望ましい(男=76%, 女=74%), 「背の低い男性は劣等感が強い」(同, 65, 76)「男性は背の高い方がカッコいい」(同, 73, 56)など、男性の身長の高さについては、男女間に態度の差は認められず、共通した態度が認められた。

さらに、男性は「恋人は私より背の低い人がいい」(66)とし、女性は「私より背の高い人がいい」(80)として、男女のカップルでは「男性は女性より背が高い方がよい」(79, 86)という共通した認識を男女とも示している。

このように、自分の身長について、異性間のパートナーの身長の組合せ、そして、男性の身長に関する意見に男女差は認められなかったのに対して、女性の身長についての項目では、性差の見られたものが多かった。「女性は背の高い方が望ましい」とする者は全体的には少ないが、それでも女性の肯定率は男性より高い。同様に「女性は背の低い方が望ましい」の否定率も女性の方が高かった。

## 考 察

男性と女性それぞれ2人ずつの刺激人物の体の大きさを高/中/低に操作して検討を行った。刺激人物の種類×身長×Ssの性別の3要因の分散分析の結果、身長の主効果が認められたのは、男性刺激人物では10項目、女性刺激人物では4項目であった。さらに、身長の各条件間の差を検討してみると、男性刺激人物では、高条件で「落ち着いている」「努力家である」「責任感がある」「慎重である」「まじめ」「おとなっぽい」の項目が他の条件より得点が高く、「おこりっぽい」「傲慢」「おしゃべり」の得点が低かった。この結果、身長の高いことが社会的望ましさに結びついており、身長の高い男性は落ち着きがありおとなであるというステレオタイプが存在することが示唆された。一方、女性刺激人物は高条件で「やさしい」の得点が高く、また、低身長条件で「積極的」「優越感を持っている」「外向的である」

Table 6 女性刺激人物について身長の効果の認められたもの

|          | 主効果   | 身長×刺激人物          | 身長×性別 | 身長×刺激×性 |
|----------|-------|------------------|-------|---------|
| スポーツが得意  |       |                  |       | *       |
| 頭がいい     |       |                  |       | *       |
| 世渡りがうまい  |       | *                |       | *       |
| 人より秀でてる  |       | *                |       | *       |
| 積極的である   | *     | 刺激人物2のみ<br>高>中・低 |       |         |
| 優越感持ってる  | 高<低   |                  |       |         |
| 行動力がある   |       | 刺激人物2のみ<br>高>中・低 |       |         |
| やさしい     | 高>低   |                  |       |         |
| 女性的である   |       |                  |       | *       |
| まじめである   |       |                  |       | *       |
| おとなしい    |       |                  |       | *       |
| 傲慢       |       |                  |       | *       |
| 男性的      |       |                  |       | *       |
| 外向的      | 高<中・低 |                  |       |         |
| この人物好ましい |       |                  |       | *       |
| 友達になりたい  |       |                  |       | *       |

下位検定の結果、身長条件間に差の認められたものを示した。

身長の主効果が認められ、有意な交互作用が認められなかったものについては、LSD法による下位検定を行った。また、有意な交互作用の認められたものについては、単純主効果の検定を行った結果を示した。

更に、条件間の差のパターンが複雑な3次の交互作用の結果については、有意水準のみを示した。\* $p < .05$

で得点が高くなっている。女性では、男性にみられたような一貫して身長の高さが社会的信頼感に結びつくというような身長のステレオタイプは認められず、かえって身長の低い方が社会的に望ましい特性に結びつけて考えられている可能性が示された。

このような結果は、被験者自身が報告した身長に対する態度項目への反応からも一貫して示された。男女とも一貫して「男性は背の高い方が望ましい、カッコいい」と考え、また「背の低い男性は劣等感を持っている」と考えている。そして、異性間のカップルについては、「男性が女性より背が高い方が好ましい」と考えられている傾向が認められた。しかし、それに対して、女性の身長についての態度に

関しては男女共に共通した傾向は認められず、女性に対しては個々人でさまざまな意見があることがうかがえた。

このように、本研究の結果からは、男性については身長のステレオタイプが存在するが、女性についてはそのようなステレオタイプは存在していない可能性が示されたと言える。しかし、本研究で操作されたのは体の大きさの要素であり、それは社会的勢力の大きさの印象に結びつけて考えられやすい可能性を持つものであった。これが、男性の刺激人物についてのみこのような差異がでてきたことと関係しているのかも知れない。身長の他の要素であるプロポーションの要因を操作させて検討すると今回とは

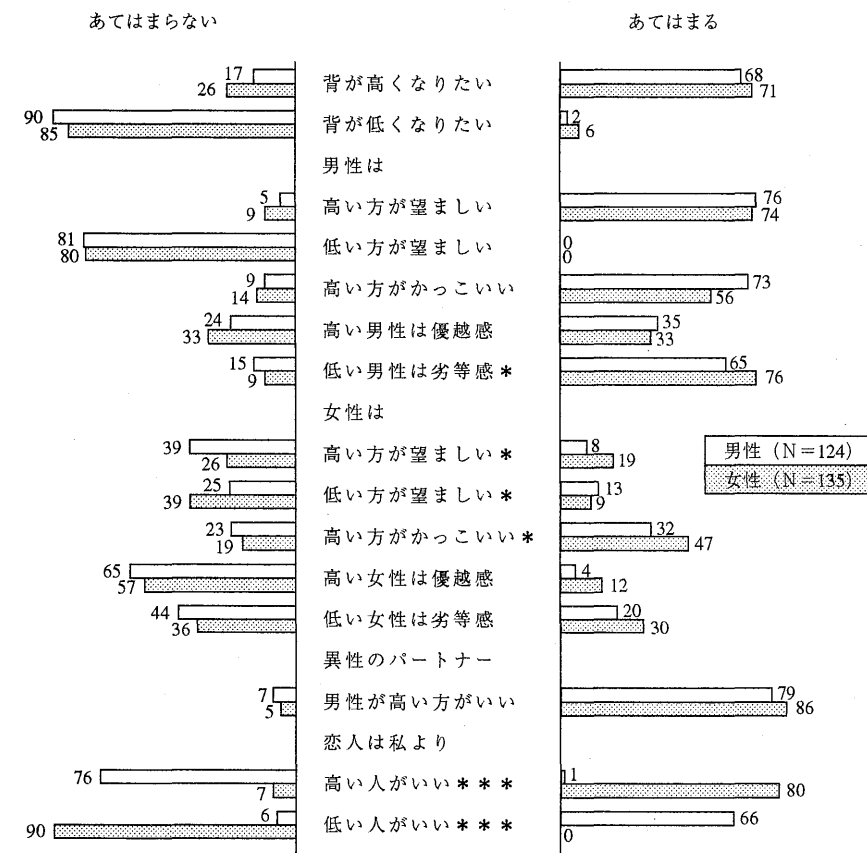


Fig. 4 身長に関する一般的態度

数値は%。なお、「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」を「あてはまる」とした。また、「ほとんどあてはまらない」+「あまりあてはまらない」を「あてはまらない」とした。

なお、図中の\*はカイ2乗検定による男女差の有意水準を示している。\* $p < .05$  \*\* $p < .01$  \*\*\* $p < .001$

異なり、女性についても身長の影響が認められるようになるかも知れない。この点については、さらに研究を行う必要がある。

## 要約

身長のステレオタイプが存在するかどうかを確認することを目的として研究を行った。男女2人ずつの刺激人物を用い、刺激人物の身長を写真を拡大、縮小して操作して、身長が対人印象に与える影響を検討した。研究の結果から、男性刺激人物については、身長が高いほど信頼感や落ち着きを与えることが示され、男性については身長のステレオタイプが存在している可能性が認められた。一方、女性につ

いては、身長の低い方が望ましい印象を与えている結果なども示され、男性と共通するような一貫した影響を対人印象に与えているとは言えなかった。

## 引用文献

- Ackerman, C., & Herman, C.P. 1979 Relative height and dominance in social interactions. Unpublished manuscript, Department of Psychology, University of Toronto.
- Adams, G.R., & Crane, P. 1980 An assessment of parents' and teachers' expectations of preschool children's social preference for attractive or unattractive children and adults. *Child Development*, **51**,

- 224-231.
- Berkowitz, W.R., Nebel, J.C., & Reitman, J.W. 1971 Height and interpersonal attraction: The 1969 Mayoral election in New York City. *Proceedings, American Psychological Association Annual Convention*, 181-282.
- Brewer, M.B. 1988 A dual process model of impression formation. In T.K. Srull & R.S. Wyer, Jr. (Eds.) *Advances in social cognition*, Vol. 1, 1-36. LEA
- DeJong, W. & Kleck, R.E. 1986 The social psychological effects of overweight. In C.P. Herman et al. (Eds.) *Physical appearance, stigma, and social behavior: The Ontario symposium*, vol. 3, 65-112. LEA
- Dion, K.K. 1972 Physical attractiveness and evaluations of children's transgressions. *Journal of Personality and Social Psychology*, **24**, 207-213.
- Dion, K.K., Bersheid, E., & Walster, E. 1972 What is beautiful is good. *Journal of Personality and Social Psychology*, **24**, 285-290.
- Elman, D. 1977 Physical characteristics and the perception of masculine traits. *Journal of Social Psychology*, **103**, 157-158.
- Farb, B. 1978 *Humankind*. Boston: Houghton Mifflin.
- Fisher, S. 1964 Power orientation and concept of self-height in men: A preliminary note. *Perceptual and Motor Skills*, **18**, 732.
- Gillis, J.S. 1982 Too small, too tall. Champaigne, IL: Institute for Personality and Ability. *Representative research in Social Psychology*, **11**, 64-71.
- 林 文俊・大橋正夫・広岡秀一 1983 暗黙理の性格観に関する研究(Ⅰ) —個別尺度法によるパーソナリティ認知次元の抽出— *実験社会心理学研究*, **23**, 9-25.
- 井上正明・小林利宣 1985 日本におけるSD法による研究分野とその形容詞対尺度構成の概観 *教育心理学研究*, **33**, 253-260.
- Keyes, R. 1980 *The height of your life*. Tronto: Little, Brown.
- Kurtz, D.L. 1969 Physical appearance and status: Important variables in sales recruiting. *Personal Journal*, 981-983.
- Lorenz, K. 1952 *The king solomon's ring*.
- 大橋正夫ほか 1976 相貌と性格の仮定された関連性(Ⅰ) —対をなす刺激人物の評定値の比較による検討— *名古屋大学教育学部紀要* **23**, 11-25.
- Roberts, J.V. 1977 Sizing people up: The effect of perceived height upon interpersonal judgements. Master's thesis, Department of Psychology, University of Tronto.
- Roberts, J.V., & Herman, C.P. 1986 The Psychology of height: An empirical review. In C.P. Herman et al. (Eds.) *Physical appearance, stigma and social behavior: The Ontario symposium Vol.3* LEA Pp.113-140.
- Rump, E.E., & Delin, P.S. 1973 Differential accuracy in the status-height phenomenon and an experimenter effect. *Journal of Personality and Social Psychology*, **28**, 343-347.
- 斉藤 勇・沼上泰子 1971 対人認知の基礎的研究 —身体的特徴から受ける印象の形成(Ⅰ) 日本社会心理学会第12回大会論文集 25-27.
- Schneider, D.J., Hastorf, A.H., & Ellsworth, P.C. 1979 *Person Perception*. (2nd ed.) Random House, New York.
- Sigall, H., & Ostrove, N. 1975 Beautiful but dangerous: Effects of offender attractiveness and nature of the crime on juridic judgement. *Journal of Personality and Social Psychology*, **31**, 410-414.
- Stabler, B., Whitt, K., Moreault, D.D., D'Ercole, A., & Underwood, L. 1980 Social judgements by children of short stature. *Psychological Reports*, **46**, 743-746.
- Stewart, R.A., Powell, G.E., & Chetwynd, S.J. 1979 *Person Perception and Stereotyping*. Saxon House, England.
- U.S. News and World Report. 1977 (March) 68
- Wilson, P.R. 1968 Perceptual distortion of height as a function of ascribed academic status. *Journal of Social Psychology*, **74**, 97-102.
- 山本真理子(研究代表) 1992 嗜好行動の社会的地位イメージにかかわる比較文化的研究 その3—喫煙習慣等の社会的評価に関する日米比較 たばこ総合研究センター報告書